

- 問1 鎌倉時代において、北条泰時が「御成敗式目」を制定した目的や背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
- 江戸幕府が諸大名を統制するために、参勤交代や城の修築制限を法制化するため。
 - 聖徳太子が定めた道徳的な規範を、幕府の役人にも守らせて仏教を普及させるため。
 - 元軍の侵略(元寇)によって困窮した御家人を救済するために、借金を帳消しにするため。
 - 承久の乱の後に増加した土地をめぐる紛争を、武士の慣習に基づいて公平に裁くため。
- 問2 13世紀後半、モンゴル帝国(元)の皇帝であるフビライ・ハンが日本に対して臣従を求める使節を送ってきましたが、当時の鎌倉幕府はこの要求を拒否しました。その後、二度にわたる大規模な軍事侵攻を受けることとなりますが、この危機の際に九州北部の防衛などを指揮した、幕府の最高責任者である執権は誰ですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
- 北条政子
 - 北条高時
 - 北条泰時
 - 北条時宗
- 問3 鎌倉時代において、3代執権の北条泰時が制定した、武士社会の慣習に基づいて裁判の基準を明確にした法典の名称を答えなさい。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- 養老律令
 - 武家諸法度
 - 御成敗式目
 - 十七条の憲法
- 問4 マルコ・ポーロが著した『世界の記述(東方見聞録)』の中で、日本は「黄金の国ジバング」として紹介されています。この記述が後の歴史に与えた影響として、最も適切な説明を選んでください。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- モンゴル帝国が日本への軍事侵攻(元寇)を決定する、最大の判断材料となった。
 - 東洋の富に憧れたコロンブスが、西回りの航路でアジアを目指す動機の一つとなった。
 - ヨーロッパ諸国がキリスト教を広めるために、日本を最初の布教地に選ぶ理由となった。
 - 日本との直接的な交易を求めて、スペインが種子島に鉄砲を伝える直接のきっかけとなった。
- 問5 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府に対して挙兵した承久の乱の後、幕府が京都に「六波羅探題」を設置した主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
- 幕府の財政を立て直すため、京都の商人から税を徴収するため
 - 征夷大將軍の補佐役として、幕府全体の政治の実権を握るため
 - 朝廷の動きを監視し、西国武士の統制や京都の警備を行うため
 - 元(モンゴル帝国)の侵攻に備え、西日本の海岸線の防御を固めるため
- 問6 後鳥羽上皇が『新古今和歌集』の編纂を命じた時期の政治的な背景について、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- 平氏を滅ぼした直後の混乱を収めるため、仏教の力による国づくりを目指していた。
 - 足利尊氏を征夷大將軍に任命し、武家政権の安定を図ろうとしていた。
 - 源頼朝と協力して、武士と公家が協調する新しい政治体制を築こうとしていた。
 - 幕府に対して朝廷の文化的・政治的優位性を示し、権威を立て直そうとしていた。
- 問7 源頼朝が確立した武士による政治において、將軍が御家人の領地支配を保証する代わりに、御家人が軍役などを負担するという主従関係の基盤となった仕組みを何といいますか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- 御恩と奉公
 - 惣領制
 - 寄進地系荘園
 - 下剋上
- 問8 鎌倉時代において、將軍と主従関係を結んだ武士(御家人)に対し、將軍がその功績に応じて先祖伝来の領地の支配権を認めたり、新たな土地を与えたりした行為を何と呼びますか。 (2021年 三重県公立入試 類似)
- 地頭
 - 御恩
 - 守護
 - 奉公
- 問9 平安時代末期、本州の西端(現在の山口県下関市付近)を舞台に行われた戦いで、平氏一族を滅ぼした武將は誰ですか。 (2018年 愛知県公立入試 類似)
- 藤原純友
 - 足利義政
 - 明智光秀
 - 源義経
- 問10 鎌倉時代初期、武士の間で一般的であった相続の仕組みと、それが御家人の生活に与えた影響について正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- 分割相続が行われ、世代を重ねるごとに一人あたりの領地が細分化されたことで、御家人が困窮する一因となった。
 - 単独相続が基本となり、長男がすべての領地を継承したため、次男以下の武士が幕府に反抗する原因となった。
 - 領地はすべて幕府に返上し、代わりに現物支給の給与を受ける制度へと移行したため、領地面積の変動は生じなかった。
 - 養子縁組による相続が奨励され、血縁のない有力者に領地が集約されたことで、御家人の経済基盤は安定した。
- 問11 鎌倉幕府が国ごとに設置し、謀反や殺人などの犯罪人を取り締まる警察・軍事的な職務を担った役職は何ですか。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
- 守護
 - 管領
 - 老中
 - 摂政
- 問12 歴史上の出来事を並べた年表において、北条政子の演説を経て幕府側が勝利した「承久の乱」の直後、13世紀前半に京都に設置された組織として適切なものはどれですか。この組織は、朝廷の監視や西国の武士の統制を目的としていました。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- 侍所
 - 問注所
 - 評定衆
 - 六波羅探題
- 問13 鎌倉時代には一遍が「踊り念仏」を広め、日蓮が「法華經の題目」を唱えることを説くなど、新しい仏教が次々と誕生しました。これらの鎌倉新仏教が共通して持っていた特徴や、民衆に普及した理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 福島県公立入試 類似)
- 国家の保護を受け、巨大な寺院を建立して鎮護国家の祈禱を行うことを重視した。
 - 文字が読めない民衆でも実践できるような、簡潔で分かりやすい教えを説いた。
 - 遣唐使として中国へ渡り、最新の文化や制度を日本に導入することを目的に活動した。
 - 山の中での厳しい修行や、高度な学問を修めることのみが救いへの道であると説いた。
- 問14 鎌倉時代から江戸時代にかけて、武士が中心となって政治を行うために組織された中央政府を何と呼びますか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
- 幕府
 - 藩
 - 内閣
 - 朝廷
- 問15 鎌倉幕府の御家人は、將軍から受けた恩恵に対し、一朝事あるときには「いざ鎌倉」と駆けつけて軍役を果たすなどの奉公の義務を負っていました。このような御家人たちを軍事的に統制し、管理・監督するために設置された組織はどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- 問注所
 - 侍所
 - 評定衆
 - 政所

答え合わせ・解説

問1	答え 4 承久の乱の後に増加した土地をめぐる紛争を、武士の慣習に基づいて公平に裁くため。	それまでの裁判は朝廷の律令に基づいて行われることがあり、武士にはわかりにくいものでした。泰時は、武士の社会で守られてきた道理や慣習を基準にすることで、御家人が納得できる公平な裁判のルールを確立しようとしました。これにより、幕府による御家人の土地支配の権利をより確実なものにする狙いがありました。
問2	答え 4 北条時宗	鎌倉幕府の第8代執権であった人物に関する問題です。1274年の文永の役、1281年の弘安の役という二度の元寇（モンゴル襲来）に際し、フビライ・ハンの要求を退けて防衛体制を整えました。北条泰時は御成敗式目を定めた第3代執権、北条高時は幕府滅亡時の執権であり、混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 3 御成敗式目	1232年（貞永元年）に北条泰時が制定した日本初の武家法です。承久の乱の後、幕府の支配力が広がる中で増加した土地争いなどの裁判を公平に行うため、武士社会の道徳や慣習をもとに作られました。後の時代の武家法の基本となりました。
問4	答え 2 東洋の富に憧れたコロンブスが、西回りの航路でアジアを目指す動機の一つとなった。	「屋根や床が黄金でできている」という誇張を含んだ日本の紹介は、ヨーロッパの人々の探検欲を強く刺激しました。コロンブスはこの記述を信じ、大西洋を渡れば黄金の国ジパングや中国に到達できると考え、航海に出たことが知られています。
問5	答え 3 朝廷の動きを監視し、西国武士の統制や京都の警備を行うため	承久の乱で朝廷側に勝利した鎌倉幕府は、再び朝廷が幕府を倒そうとする動きを見せないよう、監視を強める必要がありました。また、それまで幕府の影響力が弱かった西国（西日本）の武士を統制する拠点として、京都の六波羅にこの機関を設置しました。江戸時代の京都所司代などと混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 4 幕府に対して朝廷の文化的・政治的優位性を示し、権威を立て直そうとしていた。	鎌倉時代初期、武家政権である鎌倉幕府が力を強める中で、後鳥羽上皇は朝廷の権威を象徴する文化事業として勅撰和歌集の編纂を行いました。このような朝廷中心の政治を目指す動きは、のちに幕府を倒そうとして兵を挙げた「承久の乱」へとつながっていきます。
問7	答え 1 御恩と奉公	鎌倉幕府の仕組みは、将軍と御家人の個人的な主従関係によって支えられていました。将軍が御家人の領地を保証したり新たな土地を与えたりする「御恩」に対し、御家人は「奉公」として軍役や鎌倉の警護を行いました。この土地を介した双方向の契約関係が、武家政治の基礎となりました。
問8	答え 2 御恩	鎌倉幕府において、将軍と御家人は「御恩と奉公」と呼ばれる互恵的な関係で結ばれていました。将軍が御家人の所領を保証する「本領安堵」や、手柄に対して新たな土地を与える「新恩給与」がこの行為にあたります。これに対して御家人は、戦時に軍役を果たしたり、平時に京都や鎌倉を警護したりする「奉公」を行いました。このように土地を仲立ちとして結ばれた主従関係が鎌倉幕府の基盤となりました。
問9	答え 4 源義経	源頼朝の弟である源義経は、軍事的な才能を発揮して源平の合戦で活躍しました。1185年、本州の西端に位置する壇ノ浦の戦いで平氏を滅ぼし、源氏の勝利を決定づけました。この勝利により、兄の頼朝による鎌倉幕府の成立が確実なものとなりました。
問10	答え 1 分割相続が行われ、世代を重ねるごとに一人あたりの領地が細分化されたことで、御家人が困窮する一因となった。	鎌倉時代初期の武士社会では、親の領地を複数の子（男女を含む）に分けて引き継がせる「分割相続」が定着していました。しかし、この制度では世代を重ねるたびに一族一人あたりの持ち分が小さくなる「領地の細分化」が避けられず、さらに元寇の防衛に伴う軍役負担などが重なったことで、御家人の生活は非常に苦しいもの（困窮）となりました。
問11	答え 1 守護	鎌倉幕府によって国ごとに設置され、謀反人や殺人犯の逮捕など警察・軍事的な職務を担当した役職は守護です。管領は室町時代の幕府の役職、老中は江戸時代の役職、摂政は飛鳥時代や平安時代などに天皇を補佐した役職です。
問12	答え 4 六波羅探題	承久の乱に勝利した鎌倉幕府は、戦後処理として後鳥羽上皇を隠岐に配流しました。さらに、二度と朝廷が幕府に反旗を翻さないよう、朝廷を監視し、あわせて西国の御家人を統制するために京都の六波羅に「六波羅探題」を設置しました。これにより、幕府の支配力は西日本にも強く及ぶようになりました。
問13	答え 2 文字が読めない民衆でも実践できるような、簡潔で分かりやすい教えを説いた。	鎌倉時代は、戦乱や飢饉によって社会が不安定であり、救いを求める民衆が増加していました。一遍の踊り念仏や日蓮の題目を唱えるといった教えは、従来の平安仏教のような複雑な理論や厳しい修行を必要とせず、誰にでも実行可能な「平易な行」であったため、急速に広まりました。一方、空海などが開いた平安仏教は、主に貴族の現世利益や国家の安寧を祈る性質が強いものでした。
問14	答え 1 幕府	平安時代末期から武士が社会の重要な役割を担うようになり、鎌倉時代に源頼朝が組織した仕組みがその始まりです。京都にある天皇を中心とした朝廷とは別に、武家社会の秩序を保ち、全国の土地や武士を統制する実質的な統治機構として機能しました。
問15	答え 2 侍所	鎌倉幕府において、軍事と御家人の統制を専門的に担った組織が侍所です。御家人は将軍から所領の支配を認められるなどの「御恩」を受ける代わりに、軍役や番役といった「奉公」の義務を負っていました。この主従関係を基盤とした政治制度を支えるため、侍所は非常に重要な役割を果たしました。なお、政所は一般政務や財政、問注所は裁判をそれぞれ担当していました。